

女性活躍推進事業【明石市】

地域の実情と課題

地域の発展には、女性の活躍が不可欠であるが、活躍する女性の個々を結び付ける仕組みがなく、活躍を望む女性の掘り起こしや、地域全体の底上げが図られていない。

目的・目標

女性が活躍する、環境づくりに向けた、課題の抽出や先進事例についての情報共有などを行うネットワーク「あかし女性応援ねっと」を構築し、活躍推進の支援体制の整備を図る。(ネットワーク会員数団体45・個人23)

事業の特徴

- ・多様な主体からなるネットワークを構築し市内の事業所など地域社会における女性活躍のための取組を支援
- ・女性のさらなる活躍を支援し、実現の加速化を図るため、活躍へ向けた様々な課題をテーマとしたパネルディスカッション・異分野交流会・ブース展示を開催
- ・女性の力が社会で発揮されるよう、ハローワークとの連携のもと、再就職を希望する女性を直接就業へ結びつける「出口対策」を強化

連携団体

- ・あかし女性応援ねっと
- ・NPO法人 はちどり人権塾
- ・ハローワーク明石
- ・あかし女性の活躍推進会議

事業の効果

- ・事業所や分野を超えて情報が共有できる場を作ることで、地域全体の気運の醸成を図ることができた。(パネルディスカッション・研修会等3回開催)
- ・女性活躍を積極的に推進する企業を紹介した優良事例集を発行することにより、女性の労働環境の整備に向けて意識啓発が図られた。

今後の課題

市内に本社機能を置く事業所の9割が中小企業であり、女性活躍への理解が十分と言い難く、単体での取り組みは経済的にも困難であるため、経済団体(商工会議所など)との連携やより広域的な取り組みが必要である。

事業の概要

女性応援ミーティング

〔開催日時〕平成28年6月25日(土)13:30～16:00
〔会 場〕明石市生涯学習センター 学習室1
〔参加者〕41名
〔内 容〕

女性の活躍に関心のある方が一堂に会し、4つの分野ごとに女性が活躍できる環境整備に向けた課題を掘り下げ、解決策を参加者間で意見交換するワークショップを開催した。

＜テーマ／参加者＞

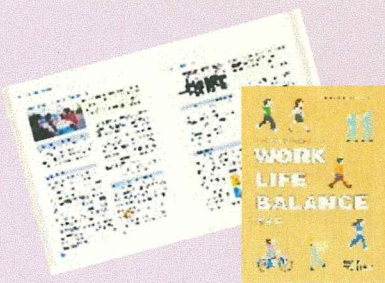
- ① 働く・仕事 / 7名 ② 子ども・教育 / 8名
- ③ 医療・介護・福祉 / 13名
- ④ 地域コミュニティ / 13名

〔まとめ〕各分野のグループごとに課題とその解決策について話し合われた。

①働く・仕事⇒働き方に対する周りの理解の必要性
②子ども・教育⇒多世代による育成・学童保育の環境整備
③医療・介護・福祉⇒人材確保や相互の助け合い
④地域コミュニティ⇒日頃のコミュニケーションの大切さ などの意見が出された。

“ワーク・ライフ・バランスガイド” の発行

ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、市内事業所の取り組みや助成金制度を紹介する冊子を作成した。



あかし女性応援フォーラム

〔開催日時〕平成29年2月11日(土)12:00～17:00
〔会 場〕あかし市民広場
〔参加者〕約350名
〔プログラム〕第1部 パネルディスカッション

＝パネリスト＝

- ・大西 亜紀 氏 NPO法人フルーツバスケット西明石・高丘保育ルーム 代表
- ・岸本 成司 氏 株式会社キシモト 代表取締役
- ・柏木 輝恵 氏 NPO法人シミンズシーズ 事務局次長
- ・崎野 圭子 氏 株式会社サキノダスキン兵庫西工場) 代表取締役

＝コーディネーター＝

- ・田端 和彦 氏 あかし女性の活躍推進会議 副会長／兵庫大学 副学長
- 第2部 異分野交流会

〔内 容〕

“あかしの女性が輝き続けるために”をテーマに各パネリストの経験談を交え、女性がキャリア継続や復職を行うにあたっての現状や課題、また、女性リーダーの育成に関し、理想のリーダー像や育成方法などについて会場参加者を交え意見交換を行った。



〔まとめ〕女性の潜在能力を活用するには、リーダーとしていかに育成していくかという課題があり、そのためには、キャリア形成が重要である。

女性の働く場・活躍する場や考え方、そしてリーダーシップが多様化する中で競争力の原点を見つけていくことである。相互のコミュニケーションを通じて、多様化するリーダーシップや考え方などを引き出し、組織の競争力を高めていくことが必要

